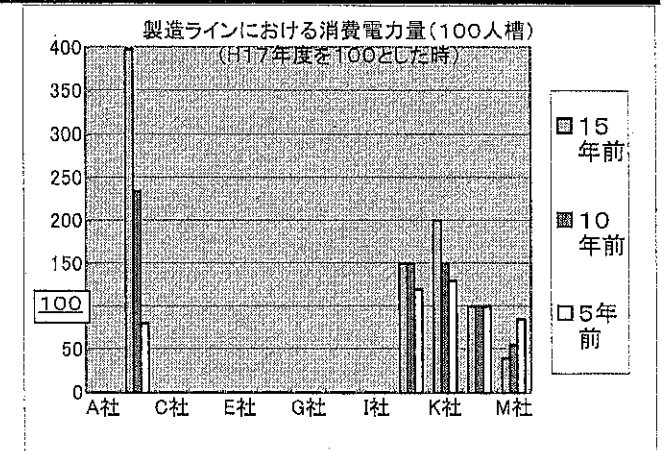
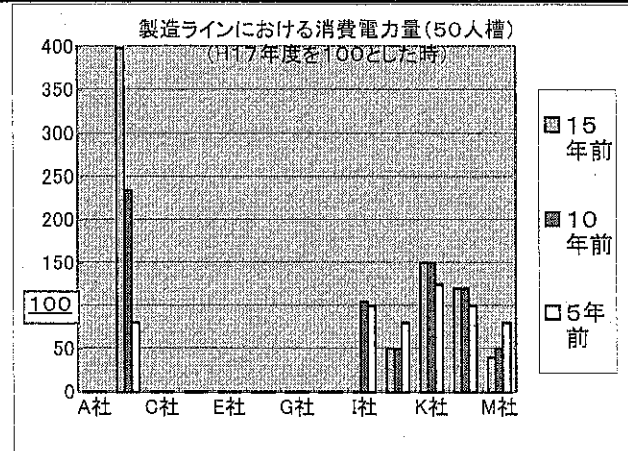
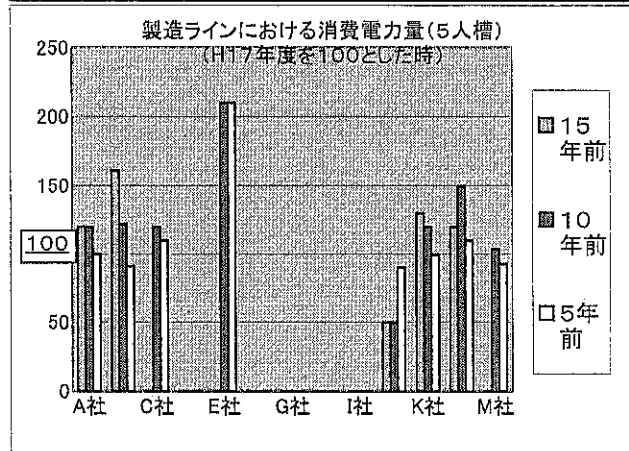


(3) 製造ラインにおける消費電力量(同一人槽・同一性能(放流水BOD20mg/L以下)の浄化槽)について平成17年度を100とした場合の値

	5人槽			50人槽			100人槽			200人槽			500人槽			備考
	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	
A社	120	120	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50人槽以上の項目はOEM供給を受けているために不明 浄化槽生産物量減少による効率の悪化
B社	161	122	91	398	234	80	398	234	80	398	234	80	398	234	80	
C社	-	120	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E社	-	210	210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
G社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	外注工場のため、不明
H社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I社	-	-	-	-	105	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J社	50	50	90	50	50	80	150	150	120	150	150	120	150	150	120	
K社	130	120	100	150	150	125	200	150	130	200	150	125	200	150	125	
L社	120	150	110	120	120	100	100	100	100	120	120	120	-	-	-	プレス成形導入のため、一時的に増加
M社	-	104	93	40	50	80	40	55	85	40	55	85	40	55	85	

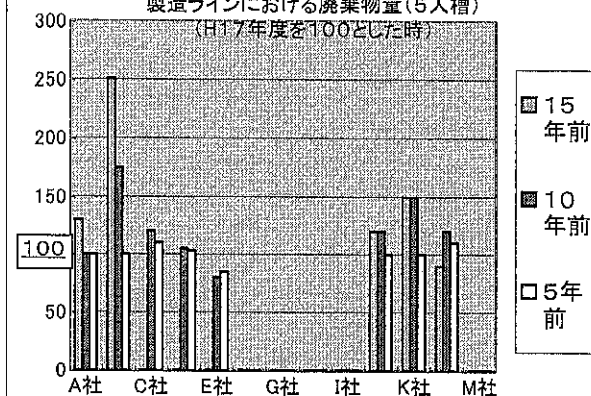


(4) 製造ラインにおける廃棄物量(埋立てなど最終処分量)(同一人槽・同一性能(放流水BOD20mg/L以下)の浄化槽)について平成17年度を100とした場合の値

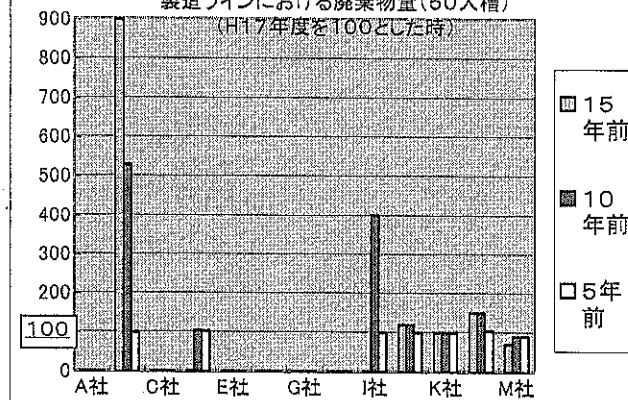
	5人槽			50人槽			100人槽			200人槽			500人槽			備考
	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	
A社	130	100	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50人槽以上の項目はOEM供給を受けているために不明
B社	251	175	100	899	529	100	899	529	100	899	529	100	899	529	100	
C社	-	120	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10人槽以上の生産浄化槽はなく、10年前に事業を始めました。
D社	-	105	103	-	105	103	-	105	103	-	105	103	-	-	-	
E社	-	80	85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
G社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
H社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	外注工場のため、不明
I社	-	-	-	-	400	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	減量分×80%は外注化による
J社	120	120	100	120	120	100	120	120	100	120	120	100	120	120	100	
K社	150	150	100	100	100	100	150	120	100	150	120	100	150	120	100	
L社	90	120	110	150	150	105	110	110	110	110	110	110	-	-	-	プレス成形導入のため、一時的に増加
M社	-	-	-	70	90	90	65	90	90	65	90	90	65	90	90	

5人槽(内作品)は現在埋立ゼロ、5年前以前は、FRPは全て埋立 5年前以前のFRP以外の廃棄物は自社内の焼却炉で焼却処分※現在焼却炉は撤去済み

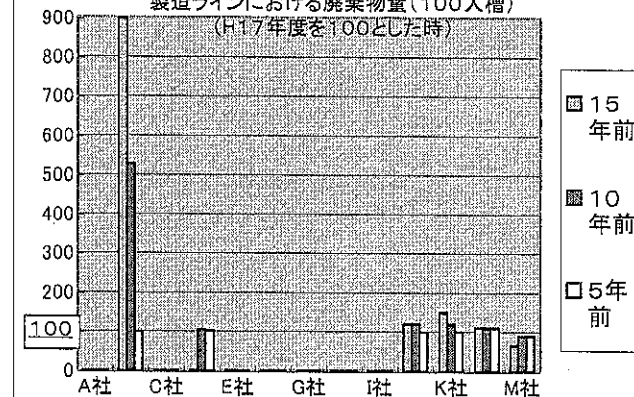
製造ラインにおける廃棄物量(5人槽)
(H17年度を100とした時)



製造ラインにおける廃棄物量(50人槽)
(H17年度を100とした時)

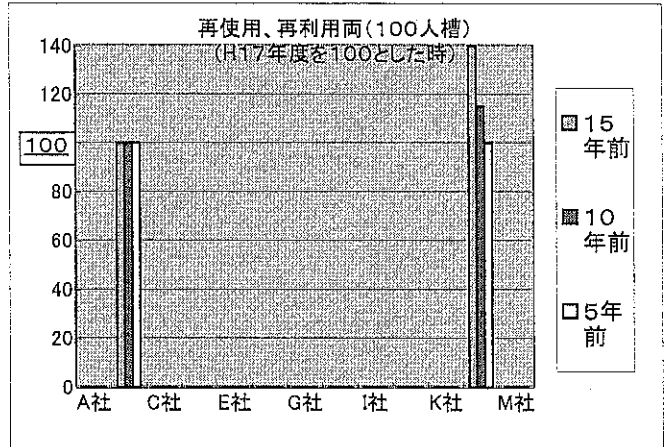
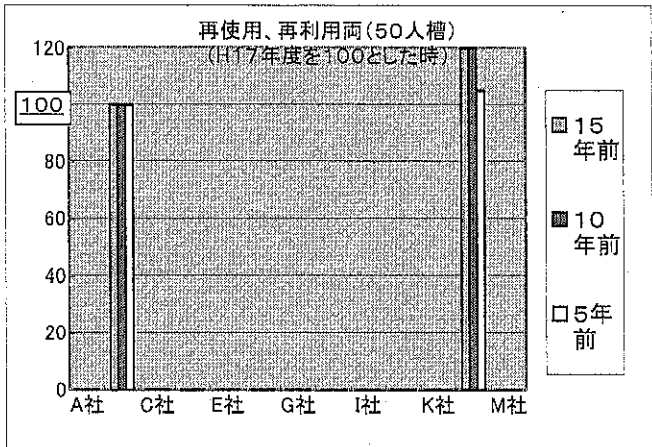
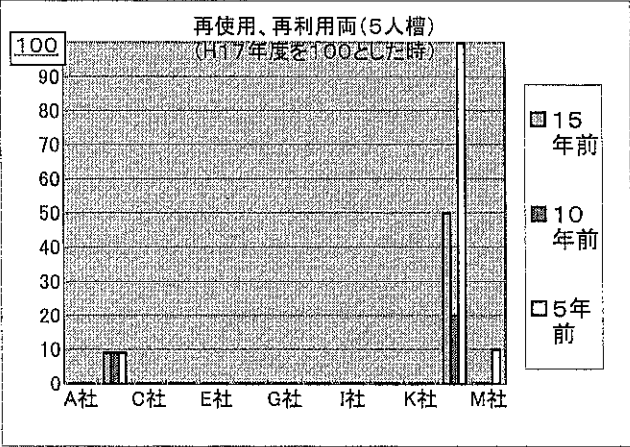


製造ラインにおける廃棄物量(100人槽)
(H17年度を100とした時)



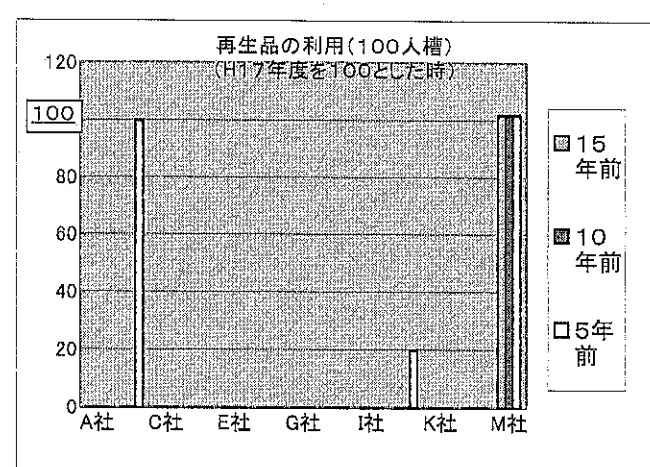
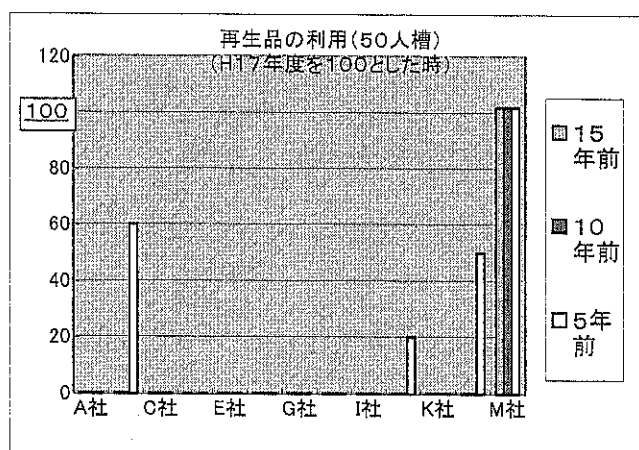
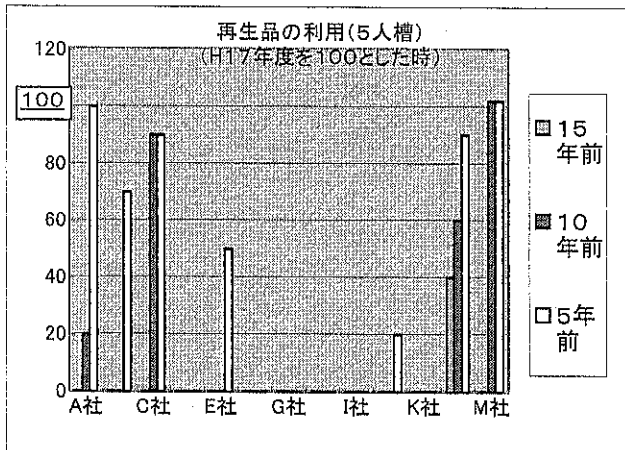
(5) 製造ラインから出る余材などを再使用、再利用する量(同一人槽・同一性能(放流水BOD20mg/L以下)の浄化槽)について平成17年度を100とした場合の値

	5人槽			50人槽			100人槽			200人槽			500人槽			備考
	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	
A社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B社	9	9	9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
C社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
G社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	外注工場のため、 不明
H社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L社	50	20	100	120	120	105	140	115	100	140	115	100	-	-	-	マンホール開口を 別途に再利用
M社	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5人槽(内作品)は 総量の92%がリサイ クル 50人槽以上 は全て外作



(6) 再生プラスチックの使用など、再生品の利用(同一人槽・同一性能(放流水BOD20mg/L以下)の浄化槽)について平成17年度を100とした場合の値

	5人槽			50人槽			100人槽			200人槽			500人槽			備考
	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	
A社	-	20	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50人槽以上の項目はOEM供給を受けているために不明
B社	-	-	70	-	-	60	-	-	100	-	-	100	-	-	100	
C社	-	90	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E社	-	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
G社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	当社浄化槽の全機種に適用できるPETボトル再生樹脂を使用した「エコ浄化槽」を商品化し販売中である。
H社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J社	-	-	20	-	-	20	-	-	20	-	-	20	-	-	20	
K社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L社	40	60	90	-	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M社	-	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	一部部材の再生品使用



市町村アンケート結果 浄化槽整備推進のために浄化槽に関する機能を改善すべき点

○水質

- ・ 現行のBOD 20mg/l から、さらに水質浄化が図れるよう機能強化をしてほしい。

○水質の向上のために容量を確保

- ・ 都市圏向きのコンパクト型浄化槽の開発が主流となっているが、敷地が確保できる地域は容量の大きな滞流時間の長い浄化槽で処理した方が良いと感じる。生産量の少ない容量の大きな浄化槽の開発もお願いしたい。
- ・ 安定した水質を得るため、十分な流量調整槽の容量の確保。

○浄化槽の状態の常時表示

- ・ (ソーラーシステムの蓄電量を表示するように) 浄化槽の水質が常時表示されるような計器類を住宅内に設置できるようにすれば、維持管理にも興味を持つとともに、水質についての住民の興味も引き、浄化槽設置の啓蒙に役立つのではないか。
- ・ 正常に機能しているか否か一目でわかるメーター等の機能。
- ・ 汚れなどのチェックを外見からできる機能の設置。

○メンテナンスの容易化

- ・ ブロワ等付属機器を含め統一的な維持管理のできる浄化槽機能の統一はできないか。
- ・ メンテナンスを行いやすい構造。メーカーが異なっても、共通の部品を使えるよう改善願いたい。

○特殊排水の処理能力の向上

- ・ あらゆる使用状況下(薬の服用等など)においても、処理水質が基準値をクリアできる機能を有するように改善すべき。
- ・ 飲食店など汚れのひどい排水に対する処理能力。
- ・ 油分の処理機能。

○防臭化

- ・ 住民の中には「浄化槽は臭う」というイメージを持つ人がいるので消臭・防臭機能の更なる改善。
- ・ 使用開始直後において、微生物が適正に機能するまでに生じる臭いが現状よりさらに低減されるよう機能改善がはかれることが望ましい。

○構造の強化

- ・ 安心して駐車場にも使用できるよう、支柱レスで4t程度の耐荷重の製品があればよいと思う。
- ・ 汚泥排出時の急激な浄化槽内部の減圧によるタンク本体のひび割れの防止。

○ブロワ対策

- ・ ブロワの振動音を小さく、臭気対策としてフタの密閉化。
- ・ ブロワの耐久性の向上。

○コンパクト型の機能向上

- ・ コンパクト型の機能の向上。
- ・ コンパクト型浄化槽は、標準型に比べ汚泥が溜まりやすく、保守点検が非常に困難であり、放流水質の確保が難しい傾向にある。少なくとも人槽分の使用人数(例えば7人槽であれ

ば7人分)の処理に関しては安定した放流水質が保持でき、かつ汚泥汲み取り周期が年一回程度に収まるよう、機能を改善してほしい。

○小型化、小容量化

- ・コンパクトで、本体価格を含めて安価に施工ができる浄化槽の開発ができれば、実情として本体価格が高い地方部でも整備が進むと思われる。
- ・宅地の形状また地形的制約から浄化槽が設置できないケースも見受けられるのでコンパクトな浄化槽など開発していただきたい。
- ・高度処理浄化槽の小型化。

○設置、維持管理コスト削減

- ・汲み取りや単独からの切り替えの場合、高度処理やディスポーザーなど機能的な部分より、多くの方が設置にかかるコスト的な部分を意識されているかと思われる。
- ・設置コストや維持管理費を削減して、設置者の負担の軽減。
- ・設置後に住民が負担する電気代や消耗品(数量、代金)などのランニングコスト面の機能の改善。
- ・高度処理浄化槽の価格の低下。

○災害対応の向上

- ・地震・水害等に強い特長を強調し、耐震性・耐久性に考慮した構造・施工を強化するとともに、水質保全の観点から、窒素・磷の除去機能を義務付けていく必要がある。
- ・豪雨災害などにより宅地が浸水した際に、浄化槽へ水が浸入しないようにしてほしい。(槽内容物の流出や槽内部の洗浄・水の入れ替えなどの問題が発生する。)

○管理者自身による管理

- ・専門の維持管理業者ではなく、設置者自らが浄化槽・放流水の状態を把握して維持管理できるように機能を充実させる。

○情報の周知

- ・浄化槽に対する苦情が市町村担当者に寄せられるが、浄化槽の機能等を含め対処方法のマニュアル等が検索できるものはないのか。
- ・浄化槽設置後に発覚する、使用上の問題点において、管理者より強く改善要求ができる方法。
- ・浄化槽設備士、管理士等浄化槽業務にたずさわる人に対し技術面、浄化槽法などの講習会等の開催、講習会への参加の義務付けを行ってほしい。市民(国民)に対し制度等の啓蒙を押し量るソフト事業を盛り込んでほしい。
- ・価格の透明性を高める。

○その他

- ・ディスポーザ対応型浄化槽の普及により、生ゴミの減量につながるとともに、推進にもつながるのではないかと。
- ・汚泥の堆積が少なく、臭気の発生しにくい浄化槽。
- ・N・P型高度処理浄化槽の機種が少ない。
- ・別荘等の非定住家屋について、長期間使用しないときでも機能の保全ができるようなものにしてほしい。また、維持管理が簡便なものにしてほしい。